

令和4年度大和郡山市在宅医療・介護連携推進の取組み

1.在宅医療・介護連携推進事業(地域支援事業)

- (1)在宅医療・介護連携に関して、必要な情報の収集、整理及び活用、課題の把握、施策の企画及び立案、医療・介護関係者に対する周知を行う事業
- (2)地域の医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他必要な援助を行う事業
- (3)在宅医療・介護連携に関する地域住民の理解を深めるための普及啓発を行う事業
- (4)医療・介護関係者間の情報の共有を支援する事業、医療・介護関係者に対して、在宅医療・介護連携に必要な知識の習得及び当該知識の向上のために必要な研修を行う事業その他の地域の実情に応じて医療・介護関係者を支援する事業

2.場面に応じた支援

切れ目のない在宅医療と介護の連携体制を構築するためには、ライフサイクルの中で起こりうる節目となる場面を意識した取組が必要であり、さらにこれらを取り巻く環境にも着目する必要がある。



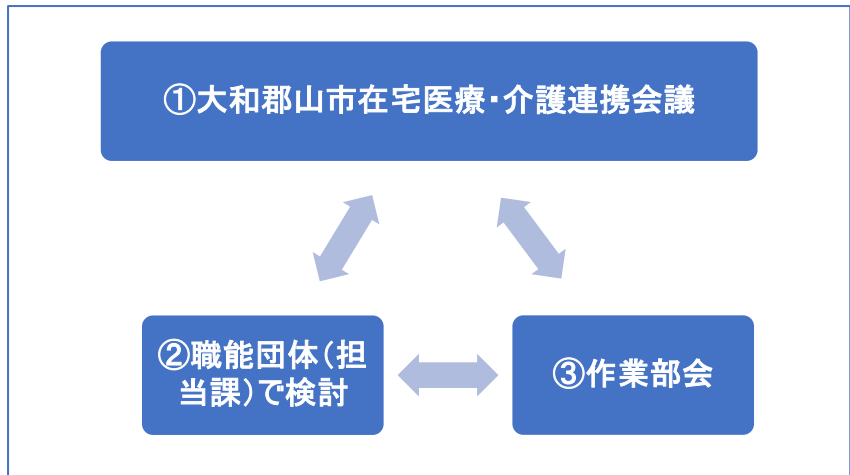
3.検討の場

①在宅医療・介護連携推進の
課題・方向性を検討する

②会議で検討したことや課題を
団体に持ち帰る



情報共有・具体的な取り組みの
検討と実施



【職能団体(担当課)】

大和郡山市医師会・大和郡山市歯科医師会・大和郡山市薬剤師会・大和郡山市訪問看護事業者連絡会・大和郡山市リハビリテーション連絡協議会・大和郡山市地域医療連携担当者連絡会・大和郡山市在宅医療介護支援センター・大和郡山市居宅介護支援事業者連絡会・大和郡山市地域包括支援センター・大和郡山市福介護福祉課・大和郡山市保健センター・大和郡山市地域包括ケア推進課(事務局)

③具体的な取り組みを検討・実践する各種作業部会

会議名		協議事項
在宅医療・介護連携 推進会議		大和郡山市の在宅医療・介護連携推進に係ることについて協議する。また、下記作業部会(A～E)の進行管理と、今後検討が必要な課題や取り組みについて検討する。
部会 A	顔の見える関係	職能の相互理解を深め、多職種連携の充実を図るため、事例検討や研修会などの共同開催や講師派遣を通じた交流を図る。
部会 B	情報連携ツール	患者(利用者)を介して繋がる多職種同士が効果的な情報共有の方法について検討する。また、連携に関する実態把握と課題について検討する。
部会 C	在宅・病院連携	在宅から病院、病院から在宅へのシームレスな医療と介護の支援が行えるよう在宅医療・介護関係者と病院関係者が、平時・入院時・退院時に行う連携について必要なルールを検討し運用する。
部会 D	認知症高齢者支援	認知症高齢者等が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるように、本人主体を基本とした医療と介護の支援体制の構築について協議する。
部会 E	看取りの支援	看取りにおいて本人や家族の意思を尊重した様々な支援を行うために看取りについての実態把握と課題への取組みについて検討する。
その他		・医療と介護の相談窓口担当者連絡会 ・一人暮らし高齢者等の緊急連絡先等の共有に関する情報交換会

4.各種会議の実績

年度	項目	推進会議	部会A	部会B	部会C	部会D	部会E	相談担当
H28	実施回数(回)	2						
	参加団体数(団体)	8						
	延べ参加者数(人)	44						
H29	実施回数(回)	2	3	2	6			
	参加団体数(団体)	10	8	8	9			
	延べ参加者数(人)	49	50	30	358			
H30	実施回数(回)	2	1	1	7	1		
	参加団体数(団体)	11	9	9	10	12		
	延べ参加者数(人)	56	22	23	319	27		
R1	実施回数(回)	2	1	2		1	2	1
	参加団体数(団体)	12	10	10		9	12	4
	延べ参加者数(人)	57	25	95		23	98	12
R2	実施回数(回)	2		1	1	1		1
	参加団体数(団体)	12		10	10	11		4
	延べ参加者数(人)	55		23	40	28		13
R3	実施回数(回)	2		1	1	1	1	1
	参加団体数(団体)	11		8	9	10	11	3
	延べ参加者数(人)	49		19	52	26	27	8
R4	実施回数(回)	1		1	1	1	1	1
	参加団体数(団体)	11		9	10	10	11	4
	延べ参加者数(人)	28		19	50	30	26	13




2023.1 作業部会 C (WEB)

5.令和4年度大和郡山市在宅医療・介護連携推進関連会議の実施状況

部会名		主な内容	日程	参加団体	参加者
在宅医療・介護連携推進会議		・在宅医療・介護連携推進会議で事業全体の方向性の検討 ・介護保険事業計画(在宅医療・介護連携推進)の進捗管理	5月19日	11	28
部会A	顔の見える関係づくり	・多職種連携関連の研修や事例検討会の情報提供	随時	*	*
部会B	情報連携ツール	・在宅医療・介護関係者と病院関係者の連携マニュアルの見直し	6月16日	9	19
部会C	在宅医療・介護関係者と病院関係者の連携	・令和4年度入退院調整調査報告 ・在宅医療・介護関係者と病院関係者の連携マニュアルの改定について	1月16日 (WEB)	10	50
部会D	認知症高齢者等への支援	・認知症について語ろう会について ・認知症予防ガイドブックを活用した市民への啓発	7月11日	10	30
部会E	看取りの支援	・看取りの支援について現状報告 ・権利擁護講演会を活用した在宅看取りの市民啓発について	10月17日	11	26
その他	医療と介護の相談窓口担当者連絡会	・在宅医療介護支援センター、包括に寄せられる相談について ・令和5年度在宅医療・介護連携推進事業計画	2月24日	4	13
計			7回	166人(延べ)	

①令和4年度大和郡山市在宅医療・介護連携推進計画(報告)

会議名	計画	実施
在宅医療・介護連携推進会議	在宅医療・介護連携推進会議で事業全体の方向性の検討や介護保険計画(在宅医療・介護連携推進)の進捗管理	・主要課題の進め方の方向性について検討。

会議名		計画	実施
部会 A	顔の見える関係づくり	従来、各団体の研修会や事例検討会を活用した交流機会の拡張を行っていたが、コロナ禍において新規の研修会開催が難しい状況であり、継続事業についての情報集約と関係機関への周知のみ継続する。	《情報提供内容》 ・日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 ・「自立支援に関するケアマネジメント」意識調査について ・事例検討会(5カ所) ・おひとりさま支援
部会 B	情報連携ツール	・連携マニュアル(入退院調整、連携シート、在宅主治医決定手順等)の活用推進と見直し H31.3 一部改訂 R2 情報連携シートの改訂	・連携ルールの大枠は変更せず、入退院連携にかかる様式について改訂内容を整理。後日、具体的な改定案を下記団体と検討。 9/7 居宅介護支援事業所連絡会 10/12 地域医療連携担当者連絡会
部会 C	在宅医療・介護関係者と病院関係者の連携	・入退院調整率調査(毎年8月) ・新規参入事業所へ連携マニュアルを配布 	・入退院調整率調査 ・在宅医療・介護関係者と病院関係者の連携マニュアル改訂案について意見交換。 ・令和5年3月改訂版完成 *WEB 開催

会議名		計画	実施
部 会 D	認知症高齢者等への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ガイドブック、予防ガイドブックの活用と見直し、「認知症について語ろう会」の活用を検討する。 ・認知症高齢者等支援ネットワーク会議へ医療介護専門職として参画する。 ・包括圏域を中心に多職種が連携して市民を対象に生活習慣病や認知症の人への支援（相談窓口等）の周知・啓発を行う。 ・認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドラインについて支援者自身の理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・包括圏域で「認知症について語ろう会」を開催。 ・包括圏域を中心に多職種が連携して市民を対象に生活習慣病や認知症の人への支援（相談窓口等）の周知・啓発を行う。 ・認知症の予防（口腔ケア）チラシ作成（2/15 号つながり全戸配布）
部 会 E	看取りの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療、介護関係者に「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」冊子配布・在宅医療や ACP 等看取りの支援をテーマに含む研修会や事例検討会等を各職能団体が連携して開催する。 ・在宅医療や看取りについて相談場所と人生の最終段階における話し合い等の必要性について市民への啓発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りの支援の課題と今後の取組みの検討。 ・在宅医療介護支援センター・地域包括支援センターの周知を目的にチラシを全戸配布（12/15 号つながり）。 ・地域包括支援センターが認知症カフェ参加者を対象に「もしバナゲーム」を実施。
そ の 他	医療と介護の相談窓口担当者連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療介護支援センター、包括情報交換 ・令和 4 年度在宅医療・介護連携推進事業について 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療介護支援センター、包括に寄せられる相談について情報共有。 ・令和 5 年度在宅医療・介護連携推進事業について検討。
	一人暮らし高齢者等の緊急連絡先等の共有に関する情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡先の共有については、具体的なルールづくりに向けて関係機関の調整を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調整会議は開催せず。 ・社協が実施する高齢者の緊急連絡カードの置き場所について検討し、冷蔵庫に保管できるような容器の配布を予算化。

②情報交換会

新型コロナウイルス感染症の流行拡大の影響や関係団体や在宅医療介護支援センターの担当者交代により、各種会議等で十分な意見交換を行うことが難しくなっている。そのため、本事業の目的や今後の方向性の共有を図り、各関係団体との有機的な連携を強化することを目的に、関係団体と在宅医療介護支援センター、行政の情報交換会を実施した。

団体名	参加者・内容	日程	団体数	参加者数
地域医療連携担当者連絡会	郡山病院、青藍病院、田北病院、藤村病院 ・各病院の機能をCM等にどう周知するか、被虐待者の入院等の対応について	6月3日	4	12
リハビリテーション連絡協議会	訪問看護たいむ、郡山病院、田北病院 ・会としての活動、介護予防事業と自立支援について	7月5日	3	13
薬剤師会	あすか薬局、ハル薬局、ひだまり薬局本庄店、薬局メールボックス柳町店 ・ケアマネ等の連携を含む地域支援体制、認知症の早期対応の連携について	8月16日	4	13
歯科医師会	こうち歯科診療所、ふくつじ歯科医院 ・歯科診療の往診体制、住民や支援者への高齢者歯科分野の講習会について	12月8日	4	8

計 4回 46人(延べ)

③地域包括支援センター・在宅医療介護支援センターチラシの全戸配布 広報紙「つながり」令和5年12月15日号

